

ローマ字の書き 通過率 52.3%

年度	出題した言葉	通過率 (%)
27	ぬりえ	69.7
26	みなと	72.9
25	なかま	71.0
24	はなみ	70.4
23	のはら	68.1
22	ひなた	67.4
21	はな	69.1

今年度、濁音の「だ」と、母音と子音の組み合わせではない「ん」の音を含む言葉を初めて出題したところ、例年に比べて通過率が下がる結果となった。

今年度は、全国・学力学習状況調査でもローマ字の書きが出題され、「りんご」の書きの正答率が53.2%と、濁音や「ん」の音で表記された言葉を正しく書くことに課題が見られたことから、児童は、濁音や「ん」の表記につまずきやすいと考えられる。

かんだ

神 田

①

とうきょう

Tōkyō

②

Akihabara

【駅の案内板】

2 次は、【駅案内板】です。①・②の間に答えましょう。

① に当てはまる「かんだ」というローマ字を書きましょう。

.....

.....

.....

内容の系統

第3・4学年
伝国ウ(ア)

第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くこと。

伝国…伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

解答類型		割合 (%)
○	Kanda	27.5
△	KANDA, kanda	24.8
×	KA, N, DA, ka, n, da, Kaのうち、一つの間違い	19.0
×	KA, N, DA, ka, n, da, Kaのうち、二つの間違い	7.8
×	Kanda, KANDA, kanda と書いているが、罫線を意識していないもの	1.7
×	kaNda 等	1.5
×	上記以外の解答	14.5
—	無解答	3.2

提案

ローマ字を読んだり書いたりする必要性を感じさせるとともに、ローマ字の規則性を押さえ、日常生活の中で継続的に指導しましょう。

- 児童の周りには、ローマ字表記が添えられた案内板やパンフレットがあふれているとともに、コンピュータの普及により、文字入力の際にローマ字を使う機会が増えるなど、ローマ字はより身近なものとなっています。まず、児童にそれらの具体的な場面を示し、ローマ字を学ぶ必然性を感じさせましょう。その際、日本語の音節が主に子音と母音の組み合わせであること踏まえながら、ローマ字の規則性について理解させていくことが大切です。
- また、学校生活でも、名前や住所等をローマ字で書く機会を設けたり、異文化交流の中で、ローマ字で書いたものを提示させたりするなど、意図的、継続的に指導していくことが必要です。校内の様々な場所の名前をローマ字で表示し、児童の目に触れやすくする等の工夫も考えられます。